

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 6 年度建設現場の省人化計測・評価に関する検討業務
業 務 概 要	本業務は、建設現場の自律化・遠隔化（オートメーション化）による省人化効果を評価するために必要となる情報を収集・整理するとともに、実際の計測・評価方法等について検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 中国地方整備局長 林 正道 広島市中区上八丁堀 6－3 0
契 約 年 月 日	令和 6 年 9 月 2 日
契 約 業 者 名	（一財）先端建設技術センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都文京区大塚 2－1 5－6
契 約 金 額	9，9 5 5，0 0 0 円（税込み）
予 定 価 格	9，9 6 6，0 0 0 円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙「契約理由書」のとおり
業 務 場 所	広島県広島市中区
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間（自）	令和 6 年 9 月 3 日
履 行 期 間（至）	令和 7 年 3 月 1 9 日
備 考	入札情報サービス（P P I） （ https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx ） にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書 (プロポーザル方式)

契約業者名： （一財）先端建設技術センター

業務の名称： 令和6年度建設現場の省人化計測・評価に関する検討業務

契約理由：

本業務は、建設現場の自律化・遠隔化（オートメーション化）による省人化効果を評価するために必要となる情報を収集・整理するとともに、実際の計測・評価方法等について検討を行うものである。

業者の選定にあたっては、簡易公募型プロポーザル方式を採用し、配置予定技術者の経験及び能力、実施方針・実施フロー・工程計画・その他、評価テーマに関する技術提案について総合的に評価を行った結果、求める業務内容に合致し、優れた提案を行っていることから会計法第29条の3第4項、予算決算及び会計令第102条の4第3号により、上記業者と契約を行うものである。